

第6学年 体 育(運動領域)

第6学年の学習到達目標

- (1) 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。
- (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善尽くして運動をする態度を育てる。

第6学年の学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容（詳しくは、わたしたちの体育をご覧ください。）
	新体力テスト	● 自分の体力を知る。	○ 50m走、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
前期	体ほぐしの運動	● 体ほぐしをして、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたりして、仲間と交流する。	活動 友だちとの関わりを楽しみながら体ほぐしの運動をする。
	表現運動 ※	● 印象的なできごとをとらえ、動きをくふうして踊る。	活動① 地球のイメージをふくらませて、思いつくままに踊る。 活動② 特徴が表れるように、友だちと動きを工夫して踊る。
	体力を高める運動	● 運動の行い方をくふうして、体力を高める。	活動① いろいろな運動をして、自分の体力を知る。 活動② 自分に合った運動をして、体力を高める。
	走り高跳び	● 競争をしたり記録を伸ばしたりして、走り高とびをする。	活動① リズミカルな助走から踏み切って、走り高跳びをする。 活動② 場を選んで、友達と競争したり、記録を伸ばしたりする。
	水泳	● 練習の仕方を工夫して、クロールや平泳ぎで泳ごう。	活動① リズミカルな助走から踏み切って、走り高跳びをする。 活動② 場を選んで、友達と競争したり、記録を伸ばしたりする。
	マット運動	● 練習の仕方をくふうして、マット運動をする。	活動① いろいろな技ができるようにする。 活動② 新しい技に取り組んだり、できる技を組み合わせたりする。
後期	ハードル走	● 競走をしたり記録を伸ばしたりして、ハードル走をする。	活動① リズミカルに走り越えて、ハードル走をする。 活動② 場を選んで友だちと競走したり、記録を伸ばしたりする。
	跳び箱運動	● 練習の仕方をくふうして、とび箱運動をする。	活動① いろいろな技ができるようにする。 活動② 場を選んで、新しい技に取り組む。
	ソフトバレーボール	● 簡単な作戦を立て、ソフトバレーボールをする。	活動① パスやアタックをして、簡単なゲームをする。 活動② ルールや作戦をくふうして、ゲームをする。
	フォークダンス	● 外国のフォークダンスや日本の民謡の踊り方を覚えて、楽しく踊る。	活動① 外国のフォークダンスを踊る。 活動② 日本の踊りを踊る。
	バスケットボール	● 簡単な作戦を立て、バスケットボールをする。	活動① パスをつないで、簡単なゲームをする。 活動② ルールや作戦を工夫して、ゲームをする。
	サッカー	● 簡単な作戦を立て、サッカーをする。	活動① パスをつないで、簡単なゲームをする。 活動② ルールや作戦を工夫して、ゲームをする。
随時	集団行動	● 横隊の集合の仕方や列の開き方ができるようにする。かけ足行進を行う。	○ 向きの変え方(右向け右、左向け左、回れ右)、かけ足行進しているときの向きの変え方(先頭左向け前進め)

※ 運動会種目関連単元

評価の観点・方法

<p>(1) 運動領域での評価の観点</p> <p>児童の発達段階に応じて、学習内容に明確にし、いろいろな運動の楽しさや喜びを味わうことができるようするとともに、学習内容の確実な定着を図るために運動を一層弾力的に取り上げて行います。そして、学習したことを家庭などで生かすために、「体づくり運動」の一層の充実を図るために、次の3観点から観点別学習状況の評価を行います。</p> <p>【運動への関心・意欲・態度】 協力や公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意し、最善を尽くして運動の楽しさや喜びを求めて運動するとしている。</p> <p>【運動についての思考・判断】 各種の運動の特性に応じた自己の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。</p> <p>【運動の技能】 自己の能力に応じた課題を理解して、運動を行うとともに、各種の運動の特性に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① 多面的な評価 日常の学習の様子だけでなく、学習カード、自己評価カード、実技など様々な面から評価します。</p> <p>② 学習中における評価 自分なりに見通しを立てながら積極的に課題解決をする態度や、児童による自己評価を大切にして評価します。</p> <p>【運動への関心・意欲・態度】 主に児童による学習記録カードなどの自己評価や準備片付け、学習全般の行動観察などで評価します。</p> <p>【運動についての思考・判断】 主に学習の計画や練習の工夫などの行動観察、児童の感想（発言・聞き取り）、教科書を活用した自己分析などで評価します。</p> <p>【運動の技能】 主に学習記録における自己評価や技能テスト、発表会などの行動記録などで評価します。</p>
---	--

特色ある学習方法

<p>子どもたちが生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフの実現や自分の健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育て、楽しく明るい生活を営むことができるようになることをめざしています。</p> <p>(1) 新学習指導要領のねらいに基づいて、以下の点を大切にして学習に取り組みます。 「生涯にわたって運動を親しむ資質や能力の育成」、「指導内容の確実な定着」、「体力の向上の重視」</p> <p>(2) 各単元のねらいを達成するために学習の流れを「単元全体を通してのねらい」→「やってみよう(基礎・基本)」→「活動①(習得)」→「活動②(発展)」→「まとめ」として取り組みます。</p> <p>(3) 体力の向上を目指した運動を毎時間取り入れ、バランスのとれた体づくりをします。</p> <p>(4) 学習効果を上げるために、学習の場の設定を工夫し運動量の確保に努めます。</p> <p>(5) 積極的にグループ学習を取り入れ、コミュニケーションを重視した学習を行います。</p>

使用材教等

<ul style="list-style-type: none">○ わたしたちの体育、体操服、赤白帽子、水着、水泳帽、跳び縄、運動靴など○ マット、鉄棒、ハードル、跳び箱、ソフトバレーボール、サッカーボール、雲てい、走り高跳びなど
--

留意事項

<p>(1) 運動ができる、できないというとらえ方よりも、一人一人目標を持ってどれだけ達成できたかで、がんばりを賞讃してやるのが大切です。</p> <p>(2) 学習を効果的に進めるために、学習環境を整えるなど事故の防止に十分留意します。</p> <p>(3) 安全に学習を進めるために、爪の長い児童は切ってください。また、髪の毛の長い児童はゴムで結びます。ピン等は使用しません。</p> <p>(4) 見学の場合は、見学理由を書いた連絡帳を担任に見せるようにします。保護者の方は、連絡帳に見学理由を書いてくださるようお願いいたします。</p> <p>(5) 食事・睡眠など基本的な生活習慣を身につけ、規則正しい生活リズム、よく体を動かす生活をいっしょに作っていきましょう。</p> <p>(6) 「わたしたちの体育」をご覧になって、家庭でもできるボール遊び、縄跳び遊びなど一緒にやる時間を持ってみてください。親子の触れ合いにもなり、楽しみながら技能面の向上にもつながると思います。</p>
